

此荒七俵壹斗五升

廿五俵壹斗九升七合五勺

五俵壹斗五升

殘高

五十八俵七升

此内拾七俵壹斗四升壹合

四十俵二斗貳升九合

貳俵壹斗三升四合

合四十三俵六升三合

此内

拾五俵

拾四俵

合廿九俵

殘ル

拾四俵六升三合

此内

十俵壹斗五升

荒

當開壹反大六十步

三ツ免ニ引

定納

當開分

宗禊神の請取の面

金壹兩只今上申候

未進

金三分

六月中

三俵二斗壹升三合

以上

天正十五 五月卅日

○

【妙嚴寺文書】

一九六四

猶以遂中勘定候處、高未進之條、催促遣候也。

爲催促、寺岡平右衛門尉・片岡平吉・小塚七藏差遣候條、

年貢諸濟物急度可令究濟、猶以難澁に付ては、可重馬

上使者也。

十二月廿六日

（前田）

家在印

直郷上戸百姓中

（第一通は年次不詳といへども、年貢のことに關するを以てこゝに之を合叙す。）

六月三日。前田利家、鳳至郡中居村に、前年の

皆濟狀を與ふ。

【中居三右衛門傳書】 鳳至郡

一九六五

天正十四年分

中居村

一、四百拾五俵貳升七合五勺

此内 廿俵

四俵五升但屋敷

殘高

三百九十俵二斗七升七合五勺

此内 七十八俵五升五合

三百拾貳俵二斗貳升貳合五勺

此内

貳百五俵壹斗五升

六十俵

大がまニツ大ごとく三ツ炭共ニ

但此かなめ廿貫めニ付て三俵あて也

合貳百六十五俵壹斗五升

四十七俵七升貳合五勺

但三ツリニのべ候也

以上

天正十五

六月三日

（前田利家）

右の請乞いづれも皆濟所也。

天正十六

八月廿七日

在印

六月廿九日。前田利家、鳳至郡輪島鳳氣至町・河

井町に、索麩座の營業を自由ならしむ。

【重藏神社文書】 鳳至郡

一九六六

當地索麩之座之事、誰にても望次第可爲十樂者也。

天正十五年 六月廿九日

鳳氣至町 河井町中

七月四日。前田利家、鳳至郡志津良庄に、前年

の皆濟狀を與ふ。

【刀禰文書】 鳳至郡

天正十四年分

志津良

一九六七